

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E113B006		保育の指導 (表現) (Method of Infant Education V)														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択必修	2	3	教育学部			氏名 田中修二、廣瀬 剛、藤井康子、村上佑介 E-mail tnkshj@oita-u.ac.jp(田中)、hirotake@oita-u.ac.jp(廣瀬)、fujii-yasuko@oita-u.ac.jp										
授業の概要	幼稚園教育における「表現」のねらいと意義、造形表現を通して乳幼児に育みたい資質・能力について、様々な色や形、素材を用いた教材研究(演習)を通して理解を深める。本講義では、教材研究の成果を踏まえ、幼児の主體的・自発的な経験が生まれる具体的な場面を想定した保育計画をグループで構想し、模擬保育を行う。模擬保育の様子は情報機器を使って記録し、振り返りを通して「表現」に適した環境構成や表現が豊かになる言葉掛けの内容について改善する視点を身に付ける。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 造形表現のねらいと内容、方法を実技演習を通して理解し、説明できる。																
目標2 幼児の造形表現の指導に必要な基礎的な知識及び技能を習得できる。																
目標3 幼児の生活体験につながる情報機器と教材を活用した保育を計画できる。																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 幼児期の協同的・創造的な表現を育む保育の構想：国内外の事例から(担当：藤井康子)																
2 光と影で遊ぶ - 生活科との連携 - (担当：藤井康子)																
3 自然の色で遊ぶ「色のふしぎ」 - 生活科・算数科との連携 - (担当：藤井康子)																
4 幼稚園の歴史と「表現」の位置づけ(担当：田中修二)																
5 「表現」と他の領域とのつながり(担当：田中修二)																
6 絵本の歴史と楽しみ方(担当：田中修二)																
7 幼児と触覚について(担当：田中修二)																
8 粘土を使った遊び 「土粘土で動物を作ろう」(担当：村上佑介)																
9 粘土を使った遊び 「小麦粉粘土でお弁当を作ろう」(担当：村上佑介)																
10 身近な素材を使った遊び「廃材を使って人形を作ろう」アイデア・制作(担当：村上佑介)																
11 身近な素材を使った遊び「廃材を使って人形を作ろう」制作・遊び(担当：村上佑介)																
12 教材研究 造形素材と用具の学び「まるを描こう」(担当：廣瀬 剛)																
13 教材研究 情報機器を活用した創造性を育む遊び「お話の世界へ」教材研究(担当：廣瀬 剛)																
14 教材研究 情報機器を活用した創造性を育む遊び「お話の世界へ」教材制作(担当：廣瀬 剛)																
15 教材研究 情報機器を活用した創造性を育む遊び「お話の世界へ」発表・ディスカッション(担当：廣瀬 剛)																
ラック	A:知識の定着・確認	グループ・ペアで教材研究を行い、模擬保育を通して学生同士で保育内容について相互に意見交流をしたり、改善案について考える時間を設ける。					工	そ	の	他						
タイム	B:意見の表現・交換															
メソ	C:応用志向															
ド	D:知識の活用・創造															
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	インターネットや雑誌、図録、展覧会等で日本及び世界の様々な芸術作品を見て、用具・材料を含めた造形に対するイメージを膨らませること(7h)。														
	事後学修	用具・材料や表現について関心を持った事柄を資料や文献等を使って調べ、理解を深めること(8h)。														
教科書	必要に応じて資料を配布する。															
参考書	・『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』チャイルド本社、2017年。 ・汐見稔幸・無藤 隆(監修)『<平成30年施行>』保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説とポイント』ミネルヴァ書房、2017年。															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	作品課題等	40%														
	保育計画の立案・演習への取り組み	30%														
	授業の振り返りを含めたレポート	30%														
注意事項	鉛筆、水彩絵の具セット、カッターナイフ、接着剤等、受講者が用意するものは開講前に掲示します。															
備考	特になし。															
リンク	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	(廣瀬) 子どもの造形活動指導、グラフィックデザイナー、イラストレーター
実務経験を いかした教 育内容	(廣瀬) 造形教育に関する実技指導、デザイン、イラストレーションの実技指導